

4

ネコノメソウは意外と多い？

ネコノメソウ

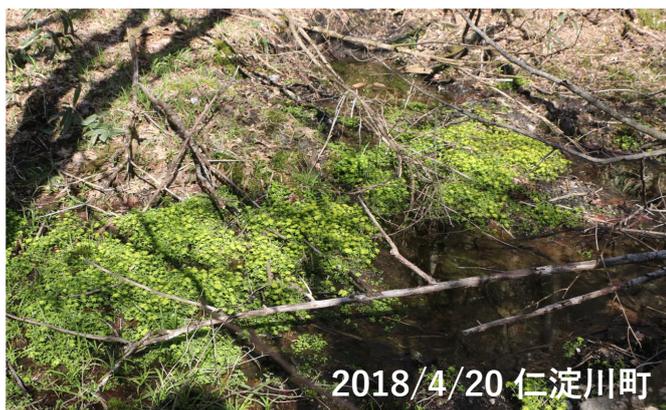
[ユキノシタ科]

*Chrysosplenium grayanum* Maxim.

南千島、北海道、本州、四国、九州北部に分布する。谷間や斜面下部の林内の水田跡や放棄水田などの水湿地に生える軟弱な多年草。

県内では仁淀川町など2～3か所の自生地が知られていましたが、2022年以降日高村や佐川町、香美市など県中部で相次いで自生地が見つかっています。早春の林内の水辺に群生し、目立つ黄色い苞葉が輝いて見えます。県内未確認のサツマネコノメなども見つからないとも限りません。種子の表面の突起や隆条も識別に重要な特徴のひとつですので、果実期の標本でもOKです。

- ・ネコノメソウの開花期は4月。
- ・県内のネコノメソウの仲間の開花期は3～5月。
- ・根のゴミや土などはきれいに落としましょう。
- ・採集の量は多すぎないように！
- ・花の部分が見えるように新聞にはさみましょう。

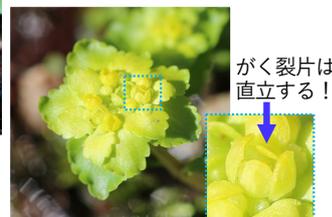


2018/4/20 仁淀川町



2022/12/22 日高村沖名

花のない時期でも葉の表面に浮き出る葉脈が特徴的！



がく裂片は直立する！

表 ネコノメソウの仲間の区別点

		特徴				学名・和名		
葉は対生	葉脈を除き無毛	おしべ4本		がく裂片は花時に直立		<i>Chrysosplenium grayanum</i>	ネコノメソウ	
		おしべ(4) ↓ 8	がく裂片は花時に平開		葯 裂開直前の暗紅色	花周りの葉は淡黄色	<i>C. echinus</i>	イワネコノメソウ
			がく裂片は花時に直立または斜開			花周りの葉は緑色	<i>C. macrostemon</i> var. <i>macrostemon</i>	イワボタン
	軟毛あり	がく裂片の形態	裂開直前の葯	暗紅色→暗紫色	がく裂片は白色 葯は萼片と同長	<i>C. album</i> var. <i>album</i>	シロバナネコノメソウ	
				黄色	がく裂片は白色 葯は萼片より長い	<i>C. album</i> var. <i>stamineum</i>	ハナネコノメ (未発見)	
			がく裂片は淡緑色		<i>C. rhabdospermum</i> var. <i>shikokianum</i>	トゲミツクシネコノメ		
葉は互生	走出枝	なし	がく裂片は緑色で基部は黄色を帯びる		<i>C. japonicum</i>	ヤマネコノメソウ		
		あり	走出枝は地上性、がく裂片は緑色～黄緑色		<i>C. flagelliferum</i>	ツルネコノメソウ		
			走出枝は地中性、がく裂片は緑色		<i>C. tosaense</i>	タチネコノメソウ		